

資料番号	3
------	---

令和5年12月15日
課名 商工労働局県内投資促進課
担当者 海外ビジネス担当監 船石
内線 3381

インド訪問の結果について

1 要旨・目的

- (1) タミル・ナドゥ州との経済交流を推進するため、2010年11月に締結した覚書を改定した。
- (2) カルナータカ州ベンガルール市、タミル・ナドゥ州チェンナイ市・コインバートル市、デリーに進出している日系企業、県内企業や関連団体を訪問し、今後のインドとの経済交流の推進に向けた調査などを実施した。

2 日程

月 日	内 容	場 所
11月27日(月)	移動(東京→ベンガルール)	ベンガルール泊
11月28日(火)	・NASSCOM 訪問 ・Rakuten India Enterprise Private Limited 訪問 ・NURA(富士フィルム健診センター) 訪問	チェンナイ泊
	移動(ベンガルール→チェンナイ)	
11月29日(水)	・Hirotec India Pvt. Ltd 訪問	チェンナイ泊
11月30日(木)	・在チェンナイ日本国総領事館訪問 ・アンナ大学訪問 ・JETRO チェンナイ事務所訪問	チェンナイ泊
	・経済交流に関する覚書の締結式	
12月1日(金)	・ORIGINS by Mahindra World City, North Chennai 訪問 ・Shibaura Machine India Private Limited 訪問	デリー泊
	移動(チェンナイ→デリー)	
12月2日(土)	・Maruti Suzuki India Limited Manesar 訪問 ・Uno Minda Limited 訪問 ・NEDO ニューデリー事務所との意見交換	機内泊
	移動(デリー→東京)	
12月3日(日)	帰国	—

※11月30日、12月2日における次の行程については、広島県議会訪問団との合同訪問。

(11月30日)

- ・在チェンナイ日本国総領事館訪問
- ・経済交流に関する覚書の締結式

(12月2日)

- ・Maruti Suzuki India Limited Manesar 訪問

3 結果

(1) 経済交流の覚書の締結式

広島県は、11月30日（木）にタミル・ナドゥ州（インド）と経済交流と推進するための覚書を締結。本協定は2010年11月に締結した覚書を改定するもので、広島県議会の尽力もあり、広島県とタミル・ナドゥ州との間の人材交流、双方向での企業進出や投資を促進することなどを盛り込んだ内容に改めた。

締結式はチェンナイ市内のホテルで開催され、広島県議会中本議長をはじめとした広島県議会インド訪問団の6名、広島県玉井副知事、タミル・ナドゥ州ラジャ工業大臣並びに在チェンナイ日本総領事館茅賀総領事立ち会いのもと、広島県商工労働局とタミル・ナドゥ州工業省ガイダンス（投資誘致機関）の代表者が署名した。

締結式終了後には玉井副知事及び中本議長がラジャ工業大臣と会談を行い、覚書の締結を契機とした今後の協力体制等について意見交換を実施した。



経済交流の覚書の締結式

(2) 現地進出日系企業、県内企業や関連団体訪問

経済交流に関する覚書の締結に加え、渡航期間中に IT・デジタル、自動車分野を中心とした現地進出日系企業、県内企業や関連団体を訪問。インド国内におけるビジネス展開やオープンイノベーション支援に関する取組、インドのエネルギー・環境技術関連の現状や展望等について説明を伺った。また、広島大学と大学間国際交流協定を締結しているアンナ大学にも訪問し、大学間交流状況や今後の交流計画等について聞き取り、意見交換を実施した。



NASSCOM 訪問



Hirotec India Pvt. Ltd 訪問



アンナ大学訪問



Maruti Suzuki India Limited
Manesar 訪問